

令和2年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	02	01	06	124130	男女共同参画推進事業費	
総合計画	分野	04	地域づくり	政策	02 参画・協働のまちづくり	
	施策	03	男女共同参画の浸透			
目的	男女共同参画の意識啓発					
対象	市民					
意図	男女が社会の対等なパートナーとしてまちづくり等に参画できるよう男女共同参画の浸透を図る。					
事業概要	意識啓発講座の開催 616千円 学習講座、DV防止セミナー、LGBTセミナー等の開催（6回） 男女共同参画審議会の開催 40千円 男女共同参画基本計画に関する事項及び施策の基本的事項・重要事項の調査審議（1回） 花巻市地域婦人団体協議会への補助 170千円 男女共同参画社会の実現に向けた活動を推進する団体及び人材の育成					
市民参画の有無	男女共同参画基本計画は参画対象					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H31	R02	R03
1	講座・フォーラム等の開催回数	回	計画	13.00	13.00	
			実績	12.00	6.00	
2	広報紙等による情報の提供回数	回	計画	15.00	15.00	
			実績	28.00	35.00	
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H31	R02	R03
1	職場や学校・地域など身のまわりで男女の平等が図られていると思う市民の割合【まちづくり市民アンケート】	%	目標	50.00	52.50	
			実績	47.60	41.00	
2	審議会委員等に占める女性の割合	%	目標	35.00	36.30	
			実績	31.40	28.80	
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
成果指標 については、条例等で委員を職指定する規定があることや登用する分野に女性の専門家が少ない、団体推薦の場合に団体が推薦しうるポストに女性が就任していないことが目標値の達成を難しくしている要因と考えられる。 については、新型コロナウイルス感染症の拡大により、全国的に飲食業や小売業など対面型の業種の業績が低下し、雇用にも影響があった。こうした業界では、一般的に女性の就労が多いことから、平等が図られているという意識が低下したと思われる。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	花巻市男女共同参画推進条例の規定により、市は基本理念のっとり、男女共同参画の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有すると規定されている。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	事業の情報提供や講座などの企画を工夫することにより、参加者の増員が期待できることから成果の向上が期待できる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業費は、事業を推進するための必要最小限の経費であり削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	男女共同参画にかかると事業は、すべての市民が対象であるため受益機会と費用負担の不公平はない。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	男女共同参画にかかると講座等の開催及び広報紙等による情報提供の実施により、市民への周知及び意識啓発を進め、男女共同参画の浸透を図った。講座等の開催回数は、新型コロナウイルス感染症拡大のため開催が難しく、昨年度実績を下回った。
	次年度に向けて	男女共同参画について市民への周知及び意識啓発を図るためには、新型コロナウイルス感染症拡大状況を注視し、オンラインを活用した講座・セミナー等の開催、並びに広報紙等による情報提供を継続して実施することが必要である。また、男女共同参画基本計画の周知を図りながら、計画的・総合的に事業を進めていく必要がある。